

第3節 薬剤師

ポイント

現状と課題

- ・人口10万人当たり薬剤師数は、本県が159.5人で全国平均の197.6人を下回っている。
(H18.12月末)

対策

- ・薬剤師の確保
- ・生涯学習支援体制の整備

< 現状と課題 >

平成18年12月末現在、県内に在住する薬剤師の届出総数は1,404人で、人口10万人当たりで見ると159.5人であり、全国平均の197.6人を下回っています(表-1参照)。

表-1 薬剤師数の推移

(単位:人)
(各年12月31日現在)

	平成12年		平成14年		平成16年		平成18年	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
全国総数	217,477	171.3	229,744	180.3	241,369	189.0	252,533	197.6
山梨県総数	1,208	136.0	1,301	146.3	1,362	153.7	1,404	159.5
中北医療圏	770	163.4	830	174.7	858	180.6	895	188.0
峡東医療圏	184	124.5	193	129.5	192	130.6	213	146.9
峡南医療圏	61	91.0	66	100.0	71	110.9	64	103.2
富士・東部医療圏	193	95.4	212	105.5	241	121.1	232	118.4

資料: 医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)

平成18年12月末現在で薬局・医療施設に従事する「人口10万対薬剤師数」は126.9人で、全国平均の136.4人を下回っています。

薬剤師は年々増加傾向にあり、特に医薬分業の進展に伴い、薬局に従事する

薬剤師が増加しています。

薬学教育 6 年制の円滑な実施のため、「実務実習指導薬剤師養成研修」について県薬剤師会等との連携を図り、薬剤師のより一層の質の向上に向け、引き続き取り組む必要があります。

< 対策 >

1 薬剤師の確保

薬剤師の就業促進

山梨県薬剤師会が設置している「薬剤師無料職業紹介所」の活動を広く周知するなど、薬剤師の就業促進を図ります。

2 生涯学習支援体制の整備

生涯研修体制の確立

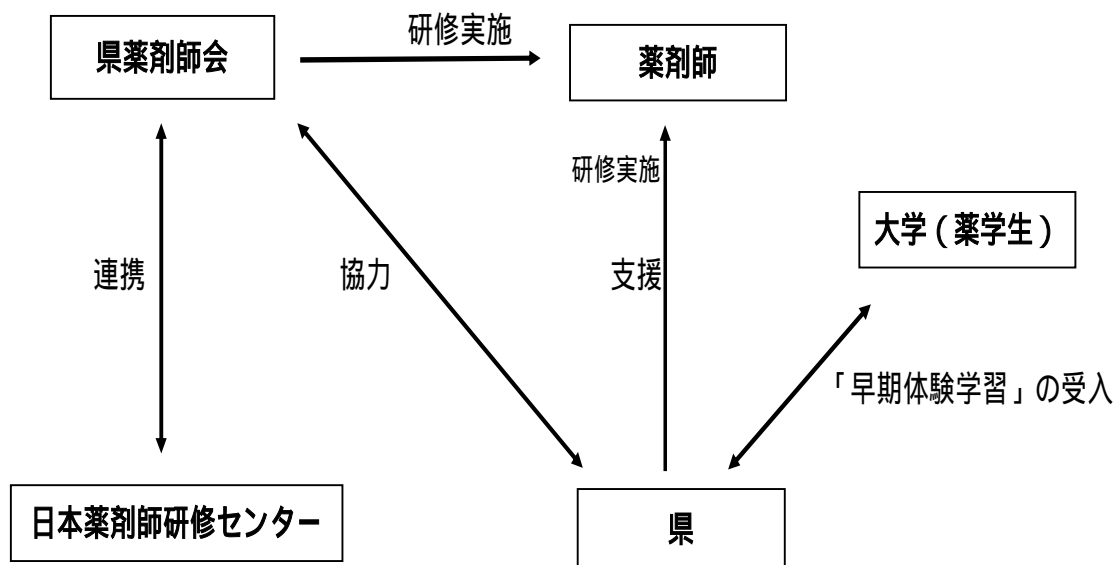
薬学の進歩や医薬分業の進展等に伴い、薬剤師に求められる能力の高度化・多様化に対応するため、県薬剤師会等の協力のもとに実務研修や自主研修等の実施を促進し、生涯研修体制の確立を支援します。

認定薬剤師制度等の普及

日本薬剤師研修センターが実施している「研修認定薬剤師制度事業」や「実務実習指導薬剤師養成研修」について、薬剤師への周知等に努め、研修への参加を推進します。

< 推進体制 >

生涯学習支援体制の整備



< 指標（数値目標） >

目標項目等	現状	平成24年度目標
6年制薬学生実務実習のための受入施設数及び実務実習指導薬剤師数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬局 36施設 50人(H20) ・ 病院 30施設 19人(H20) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬局 126施設 150人 ・ 病院 30施設 55人

(参考)厚生労働省は平成17年度から実務実習指導薬剤師を養成するための薬剤師研修事業を計画し、日本薬剤師研修センターに事業の実施を委託している。

本県では、平成19年度までに、実務実習指導薬剤師になるために必要な5行程の講習を修了している薬剤師が69名おり、平成20年度に申請予定である。